

新年度のスタートにあたって

校長 末廣 啓子

満開の桜や菜の花に迎えられ、新2～6年生が進級の喜びとともに明るい挨拶をして元気に登校してきました。新しい出会いに、わくわく、ときどきしているようです。

令和7年度前期始業式では、体育館に集まった児童に向けて次のような話をしました。『今年度は、「自分で考え、やってみる」を合言葉とします。まず、自分で考えてください。そして、やってみてください。「誰かに言われたからやる」のではなく、自分が考えたからやるようになってほしいのです。考えるためには、知恵が必要です。わかったことやできるようになったことを使って考えましょう。やってみるには、「言ってみること」や「行動してみる」ことがあります。係や委員会活動、学級会、いろいろな学習の場面で「こんなことをやりたい。」「こうしたらいいと思う。」という声が聞こえてくることを楽しみにしています。もちろん、話をするときのやさしい言葉遣い、相手に対する思いやりも大切に、仲良く楽しいクラス・学校にしていってください。』自分なりの目標（めあて）をもち、そして、友達の目標も応援しながらみんなでがんばってほしいと思います。

9日には9名の1年生が入学しました。担任に呼名されるととてもよい返事ができ、話を聞く姿勢も立派でした。入学式で1年生に、学校で楽しく過ごすためにがんばってほしいことを話しました。『皆さんにがんばってほしいことは「できない」を「で～きた」にしようということです。できるようになるまで、何度もやってみたり、先生や友達に教えてもらったりしてみてください。失敗しても大丈夫。学校は、できるようになるまでがんばる子を、みんなが応援してくれるところです。できることをたくさん増やしていきましょう。明るい挨拶、誰とでも仲良く、新しい勉強・運動… 何かができるようになったら、「で～きた」と教えにきてください。』

子どもたちの成長は「できるようになるまで行きつ戻りつして獲得するその過程」といえます。その基盤は学校が「失敗しても大丈夫。学校は、できるようになるまで頑張る子をみんなで応援するところ」であることです。職員一同このことを保護者の皆様と共有しながら、心の通った教育活動をすすめてまいります。地域の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

【学校教育目標】 自ら考え 自ら学ぶ そして実践する子どもの育成

【目指す子ども像】 思いやりの心を持ち 知恵を出し合い 伸びようと 根気よくがんばる子

【重点目標】 自分で考え、やってみる

～ わくわく登校 いきいき活動 にこにこ下校 ～

今年度は、「自分で考え、やってみる」を重点とし、様々な学習や教育活動の場を通して子どもたちの育成にあたります。